



赤目まちづくり委員会・市民センター

たきこちゃん通信

1

2021年
月号

発行/赤目まちづくり委員会(赤目市民センター)〒518-0465名張市赤目町丈六238-1 電話/FAX63-0329 E-mail/akame-ko@emachi-nabari.jp

新年を迎えて思うこと…。

赤目まちづくり委員会 会長 亀本和丈

令和3年の新しい年を迎え地域の皆様方と共に祝い出来ます事、心よりお慶び申し上げます。昨年は、年明け早々からの新型コロナウイルスの世界的な感染拡大に伴い、国難とも云われる大災害に私共、赤目まちづくり委員会と致しましても、これに負ける事無く対策・対応を考えながら歩んで来た1年に、地域の皆様方の心からのご理解とご協力を賜りました事、改めて厚くお礼と感謝を申し上げます。

さて迎えました本年は、恐怖におびえた暗闇のトンネルから一刻も早く脱出し、安全で安心の明るい暮らしが戻る様願うところであります。また昨年4月に予定されていた東京オリンピック聖火リレーも今年4月8日に、地元赤目四十八滝に到着する事が決定されました。聖火の如く老若男女全ての皆さんが輝く未来の火を見つめ、走り続ける事を期待致しますと共に、地域皆様方のご健康でご多幸を、また合わせましてコロナウィルスの早期終息を心よりご祈念を申し上げ、新年の挨拶と致します。

令和3年新年を迎えて

赤目市民センター センター長 吉田好文

新年あけましておめでとうございます。

皆さま方におかれましてはお健やかに新年をお迎えの事と謹んでお慶びを申し上げます。日頃は、市民センターの運営、活動に対しまして多大なるご支援、ご協力をいただき誠にありがとうございます。

さて、昨年は「コロナ禍」で日常が一変、市民センター行事・イベント等館内、館外を問わず残念ながら活動が自粛、中止あるいは規模縮小となった一年でありましたが、サークル活動は6月から順次活動再開、市民センター活動では「3蜜」を避けながら8月より再開、10月末より実施の「市民センターまつり」では皆さまのご協力をいただきながら展示のみで実施をさせていただきました。

本年は、この厳しいコロナ下ではありますが、一日でも早く平穏な日が来ます様に、そして皆さまがお元気で明るい年であります様ご祈念申し上げますと共に、なお、本年も引き続きご支援ご協力を賜ります様よろしくお願い申し上げます。

名張全世帯型プレミアム付・子育て応援商品券

“みんなで支えよう！名張のお店”

全世帯型プレミアム付商品券・子育て応援商品券の利用期間は1月31日までです！忘れずにご利用ください！！

対象者：名張市に住民票を有する世帯主の方

(子育て応援商品券は18歳以下の児童がいる世帯の世帯主の方)

利用期間：令和2年11月2日(月)～令和3年1月31日(日)まで

問い合わせ先：名張商工会議所 (TEL:0595-63-0080)



市民センター自衛消防訓練を実施

12月3日(木)10時より市民センター職員・サークルさんの40名で、通報・消火・避難訓練を実施しました。

お知らせ

「子供の命と権利を守る」講演会

子どもの人権について。子どもは、かけがえのない存在です。そして、子どもには生まれながらに豊かに育つ権利があり、暴力や差別から守られ、子ども一人ひとりが人として豊かに育つことができるよう、子どもの権利が守られなければなりません。

★この機会に子どもの人権について考えてみませんか。

日時 令和3年1月16日(土)10時より

場所 赤目市民センター 大会議室

講師 三重県児童相談センター 児童相談強化支援課 課長 村田 宜彦 (むらた のりひこ) 氏

申込み 1月8日(金)までに、市民センターまでお申し込みください。

・・・昼からは、・・・

赤目地区ミニ集会 更生保護女性会

2021年1月16日(土)1時半より市民センター大会議室

テーマ 「地域での見守り活動を通じて」

講師 堀内節生(地域振興推進部 部長)

ELP 健康講座・サンサンカレー、忍たま広場開催

健康福祉部主催で、ELP 健康講座・サンサンカレーを12/17(木)開催しました。歯科衛生士の島岡育代さんをお招きし「口腔機能を低下させないために」の講座と頭と体の体操を実施。お昼は、美味しいサンサンカレーを頂きました。

また12月度の忍たま広場を12/23(水)開催、クリスマス会も含めサンタさん・トナカイさんも登場で、明るく楽しい広場が行われました。

ELP 健康講座・サンサンカレー



忍たま広場(クリスマス会)



楽しい工作教室開催、ご参加ください。

赤目市民センター主催講座

『工作教室』 レジンを使った

チャーム作り

携帯・鞆のストラップに、ブローチになど、プレゼントに最適なアクセサリーを作ってみませんか。

開催日 2月7日(日) 9時半より

赤目市民センター 工芸室

参加費 700円/1個(1人様2個まで)

募集人員 先着10名(1月12日より受付)



お申し込みは、市民センターに見本(サンプル)を置いてますので、お気に入りを選んで、お申し込みください。赤目市民センター ☎63-0329 まで

ご案内! 第17回ふるさとウォーク in あかめ開催

子どもからお年寄りまで、のんびりと歩いて赤目を散策!

※豚汁の振舞いは、中止とになります。(記念品進呈)

日時 2月27日(土)8時半より

場所 赤目市民センター・駐車場

※マスク着用をお願い致します。

なお新型コロナウイルス感染防止対策のため中止になることがありますので、ご注意ください。

赤目駐在所建替え工事中

令和3年3月11日まで建替え工事になります。

ご用件がある場合は、名張署 62-0110 まで

1月11日~2月7日までの予定

| 月 | 火 | 水 | 木 | 金 | 土 | 日 |
|------------------|---|------------------------|----|----|-------------|-----------|
| 1/11 子ども風揚げ大会 | 12 | 13 ふれあいサロン | 14 | 15 | 16 人権学習会 | 17 |
| 18 | 19 | 20 | 21 | 22 | 23 | 24 |
| 25 | 26  | 27 ふれあいサロン 忍たま広場 | 28 | 29 | 30 | 31 |
| 2/1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 工作教室 |

※赤目市民センターでは、コロナ対策として、検温・マスク着用・消毒・換気、名簿の作成など、3密(密集・密接・密閉)を守りつつ運営しています。しかしながら状況に応じ、中止・延期になる場合がありますので、ご注意お願い致します。

※工作教室(チャーム作り)、ふるさとウォーク in 赤目の詳細は、今後配布のチラシ・回覧をご覧ください。

2・3月の行事予定

★2/7(日)工作教室(チャーム作り)

★2/10(水)ふれあいサロン

★2/18(木)サンサンカレー、ELP健康講座

★2/24(水)ふれあいサロン、忍たま広場

★2/27(土)第17回ふるさとウォーク in 赤目

★3/10(水)ふれあいサロン

★3/24(水)ふれあいサロン、忍たま広場



あかめ里山文化保全会の設立に伴い、会員募集!

環境部会では、赤目地域環境整備の一環として竜神山・柏原城址跡等の周辺里山の保全活動の事業を立ち上げました。令和2年9月に三重県緑化推進協会の認可、今後の整備活動を推進して下さるメンバーを募集します。

環境部会・あかめ里山文化保全会 宮本 TEL.63-0329

Vol.12 歴史散策紀行…「赤目文化遺産」 (各区・地域の名所・名品を募集しています。)

延寿院(えんじゅいん)

赤目四十八滝の登り口にある延寿院は、修験者の祖、役小角(えんのおづぬ)が1300年前に開いたといわれ、正式には黄龍山 延寿院という天台宗の寺です。赤目不動を安置しており、この不動尊は東京の目黒不動、目白不動と並んで日本の三大不動の一つに数えられています。他に、鎌倉時代作の石造灯籠と十三重石塔や樹齢約400年以上の枝垂(しだれ)桜は有名。

この桜は高さ7m幹周り5mのしだれ型で、品種はエドヒガンです。慶長13年(1608年)、植えられたのは藤堂高虎が伊賀に来場され伊賀上野城と領国安堵の祈願所として赤目延寿院を復興された頃だと推定されている。例年四月初旬に花をつけ参拝客を迎えます。やや小型の一重咲きの花が咲き、萼筒(花びらの根元にある『ガク』の形)は壺型。本堂越しに遠くから見ると幹の太さとあいまって日本人好みの盆栽のような趣がある桜です。

役の行者が滝にうたれて秘法を修していたとき、不動明王が赤い目の牛に乗って出現せられたといわれ、後にその不動明王を祀り赤目不

動尊として行者の守り本尊とし、今日に至ったものと伝えられる。また町名・地名の「赤目」もこれに由来するといわれる。

平安朝から鎌倉時代は、山岳仏教の道場として栄えていた。鎌倉時代より室町、戦国の世にかけて仏教思想の上に阿弥陀の浄土思想が興り、従来の密教思想や龍神信仰と相まって赤目の滝は、滝の数も多く、龍が棲むといわれるくらいの底知れぬ深澤があり、阿弥陀の浄土に生まれようとする浄土思想の実践の場にふさわしい道場であった。

滝も「あみだが滝」と呼ばれており、四十八滝もこの阿弥陀如来48願からつけられたとも言われる。その後、八坊伽藍も後三条天皇勅願により再建されたが、天正伊賀の乱に(伊賀忍者の修練場であったために)織田勢によって灰燼に帰した。わずかに残ったのは、鎌倉時代の石灯籠と菊の紋章入りの巨大な鬼瓦ぐらいである。後に藤堂高次(高虎の嫡男)が不動院観音堂を建て、代々藤堂家の祈願所として明治維新まで庇護されてきた。

是非ともまた桜の咲く頃に、散策に行きたいと思う。

